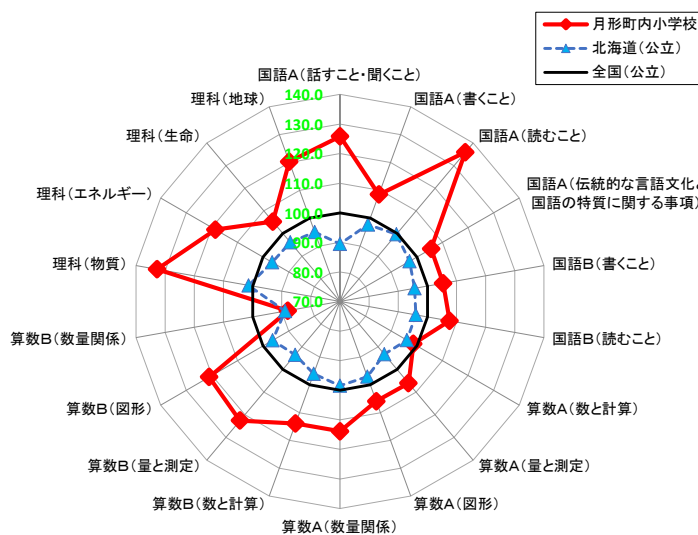


■月形町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:15名)

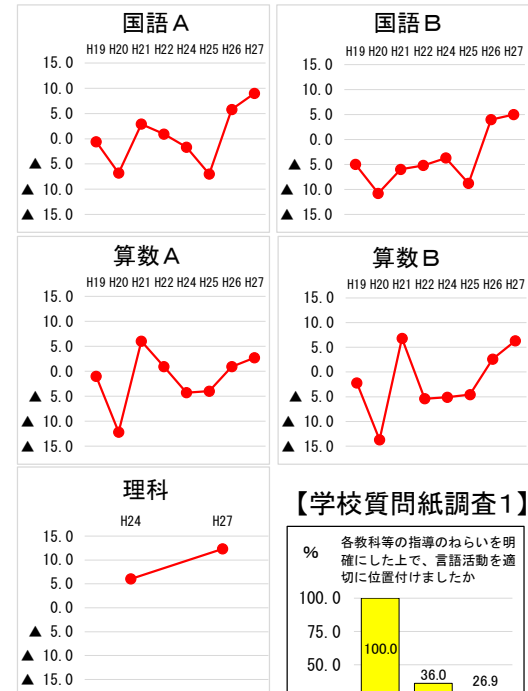
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの

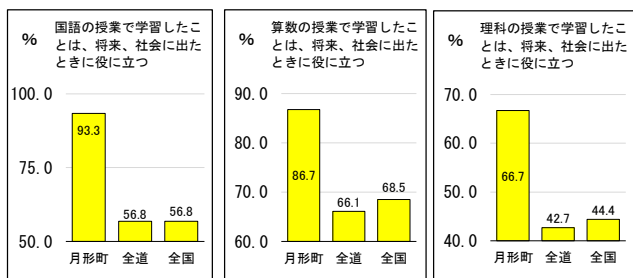
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



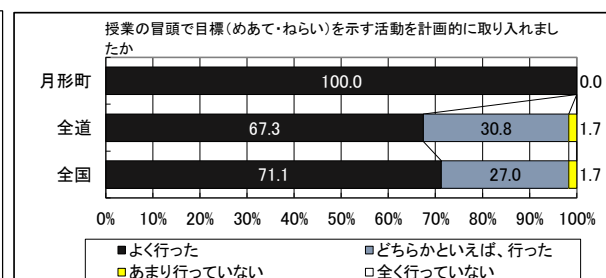
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査2】



【分析】

教科	○ 国語A・Bともに、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 算数Aでは「量と測定」、「図形」、「数量関係」、算数Bでは「数と計算」、「量と測定」、「図形」で全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。	○ 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を積極的に取り入れた結果、児童が国語、算数、理科の授業で学習したことが、社会に出たときに役に立つと思うようになり、国語A・Bの全ての領域、算数Aの「量と測定」、「図形」、「数量関係」、算数Bの「数と計算」、「量と測定」、「図形」、理科の全ての領域で、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語、算数、理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。	○ 平均正答率の推移については、各教科等の指導のねらいを明確にした上で言語活動が適切に位置付けられたことにより、児童の言語活動が充実し、全教科で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的によく行っている。	

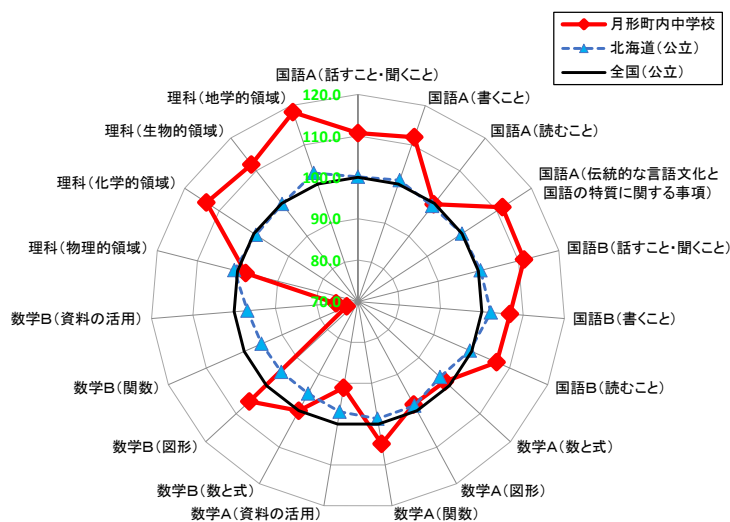
【月形町の学力向上策】

◎ 町単費で1名の時間講師(算数)を配置 ◎ 月形町教育振興会(平成23年度創設)において、研修活動及び学校間の連携を推進 ◎ 「サテライト図書」と称し、町立図書館が小・中学校の昼休みに配本活動を実施
--

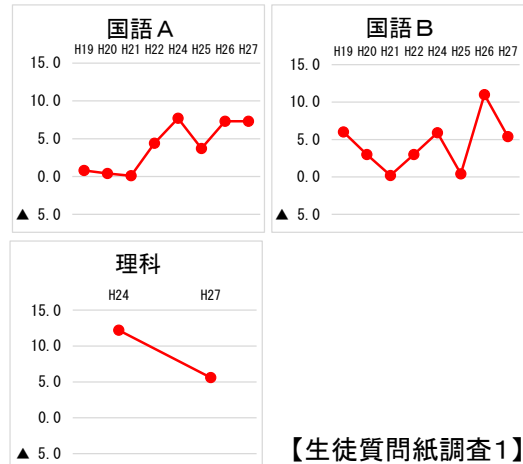
■月形町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:17名)

【教科全体の状況】

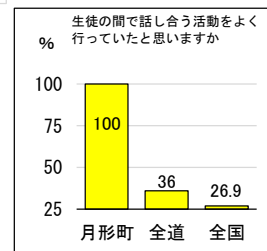
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



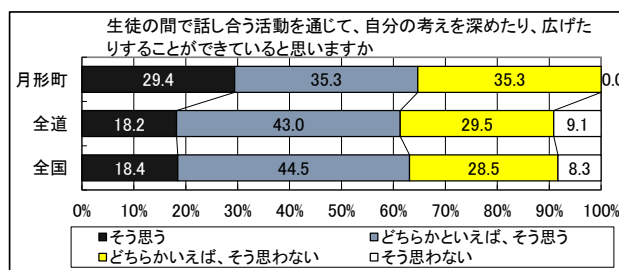
【平均正答率の全国との差の推移】



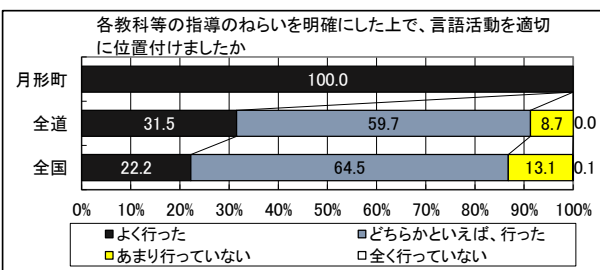
【生徒質問紙調査1】



【生徒質問紙調査2】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Aでは「関数」、数学Bでは「図形」で全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では「化学的領域」、「生物的領域」、「地学的領域」で全国及び全道を上回っている。	○ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた取組をよく行った結果、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになり、国語Aの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、数学Aの「関数」、数学Bの「図形」、理科の「化学的領域」、「生物的領域」、「地学的領域」で、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」という質問に対して、「そう思う」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。	○ 平均正答率の推移については、学校全体で組織的に各教科の指導のねらいを明確にし、言語活動を適切に位置付けた結果、生徒が話し合う活動をよく行うようになり、国語A、国語B、理科で、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切によく位置付けている。	

【月形町の学力向上策】

- ◎ 町単費で2名の時間講師(数学・外国語)を配置
- ◎ 月形町教育振興会(平成23年度創設)において、研修活動及び学校間の連携を推進
- ◎ 「サテライト図書」と称し、町立図書館が小・中学校の昼休みに配本活動を実施